



郡山城表参道 松の坂。正面は郡山高校で、例年ならお城祭りでにぎわう所。中央に見える石碑は阿波野青畝の句碑で、

「十五万石の城下へ 花の坂」

郡山の春の賑わいを詠んだ句と思っていたら、この句が詠まれたのは昭和 17 年、句碑が建てられたのは 19 年の戦争の時代なのです。

十五万石は江戸時代の後半、柳澤時代の石高で、明治まで続く 6 代の藩主はいずれも文芸や学問を好む名君だったと。

作者は、十五万石という言葉に、郡山の最も平和で賑やかだった風景を見ていたのでしょう。そしてこの句碑は、そんな郡山の町を懐かしむ人々によって建てられたのです。

(松の坂の句碑 2004)